

社会系(地理歴史) カリキュラムデザイン論

第6-7講 【意図されたカリキュラム】を使いこなす

- －原田智仁(1997)「高校歴史単元開発の方法
- －理論の選択と組織を中心に－」カリキュラム研究 6－



演習課題1

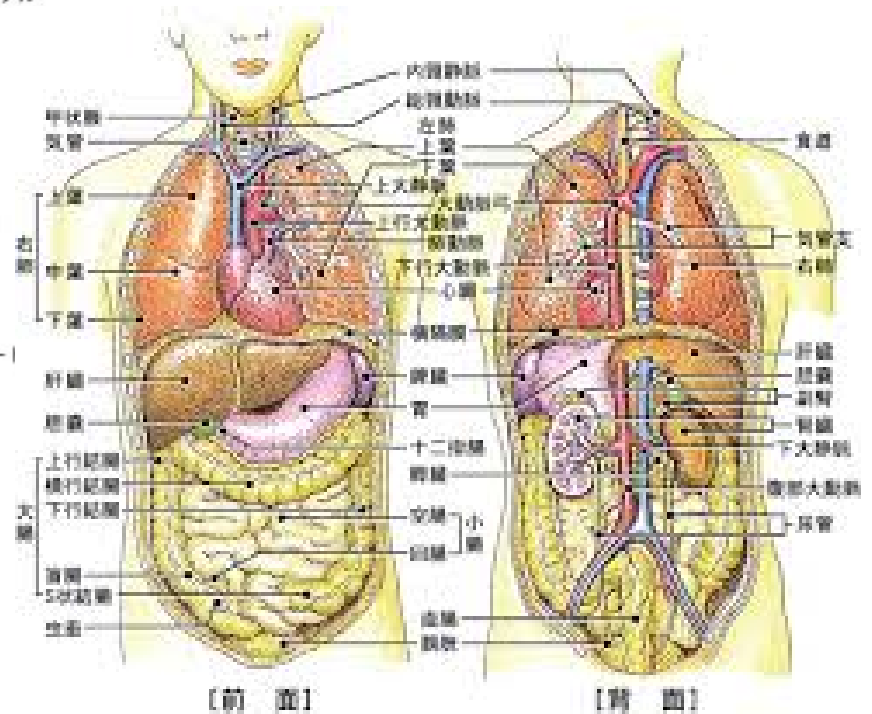
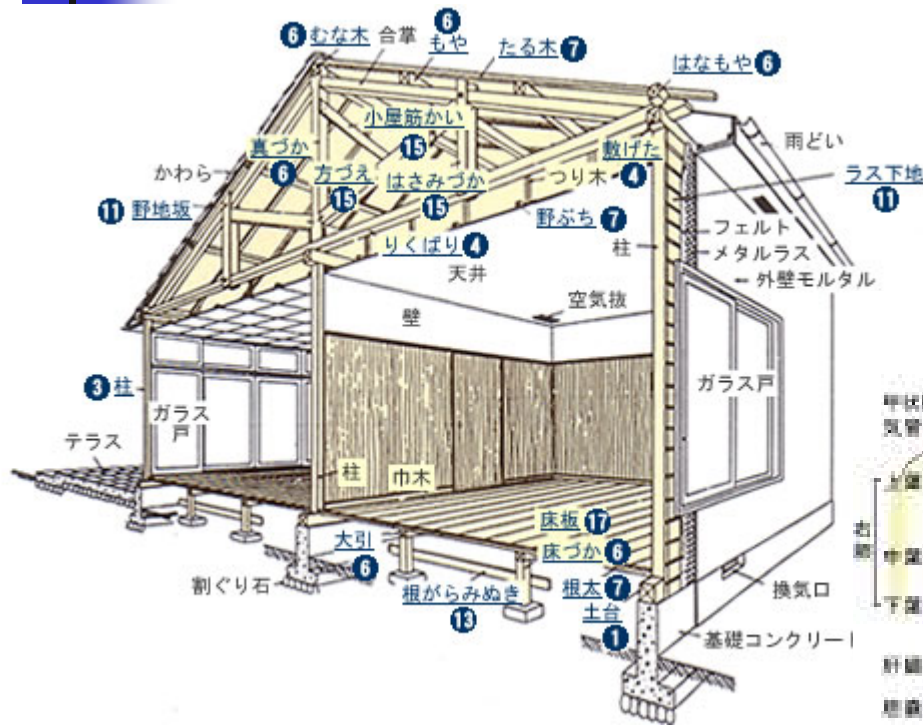
重要センテンス7箇所 (Silent Discussion)

(1) 私の**見解**や**賛否**・**代案**をどんどん書き込む

- ペンを持参し、各班が1枚の模造紙の前に立つ。
- どんどんツイート。3分でローテーションします。
- 他者のツイートにリツイート=コメントしてよい。
- 賛同するときは、「いいね!!」の意味で♥をつける

(2) 7箇所にツイートしたら、原点に戻ります
じっくり読み込んで、意見の**広がり**、**新たな展開**を報告しよう。

構造ってなんだ？





演習課題2

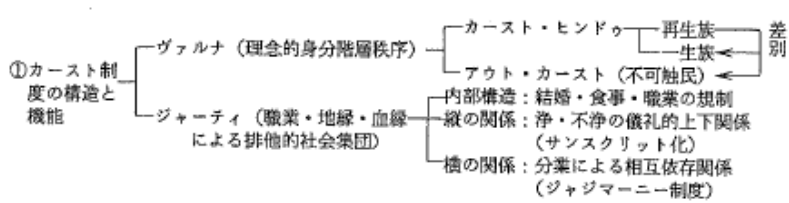
論文からみんなで考える(グループワーク)

- (1) **自分たちでもやってみよう**...11:30まで
 - 歴史的または地理的分野で適当な章・節を決める
 - 原田論文を参考にして単元構成を考える
 - 0枚目に, 班の名前と発表者の名前を入力する
 - 1枚目に, 教科書の章・節の目次を打ち込む
 - 2枚目に, 代表的な理論と事例を1つずつ紹介する
 - 3枚目に, 単元構成(●次の主題と●時のMQ)をかく
- (2) **最優秀プランを決める**...理由を添えて自分以外の班に投票。優勝班には5点を加点。

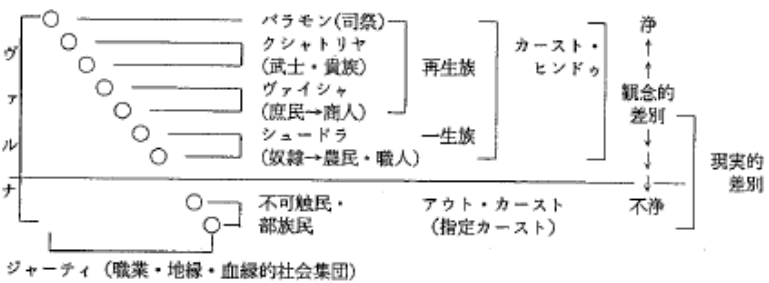
教科書の目次ー歴史の場合

| | | | | | |
|-------------------------|------|------------------------|------|------------------------|------|
| 2 南北朝の動乱と室町幕府 | 78 | 2 産業革命と19世紀のヨーロッパ | 148 | 3 戦時下の人々 | 226 |
| 3 東アジアとの交流 | 80 | 3 ロシアとアメリカの発展 | 150 | 4 戦争の終結 | 228 |
| 4 産業の発達と民衆の生活 | 82 | 4 ヨーロッパのアジア侵略 | 152 | 私たちが学ばなければならない① | |
| 5 応仁の乱と戦国大名 | 84 | 5 開国と不平等条約 | 154 | 原爆ドームの保存と平和への願い | 230 |
| 6 室町文化とその広がり | 86 | 6 尊王攘夷運動と開国の影響 | 156 | ▼深めよう 北海道とアイヌ民族の歴史 | 234 |
| 私たちが学ばなければならない② | | 7 江戸幕府の滅亡 | 158 | ▼深めよう 全ての子どもに教育を | 236 |
| 戦国時代の城下町・一乗谷 | 88 | | | ■この時代の特色をとらえよう | 237 |
| ▼深めよう 東アジア世界の朝貢体制と琉球王国 | 92 | 2節 明治維新 | | ■この時代の歴史の学習を確認しよう | 238 |
| ▼深めよう 室町時代の生活文化と現代 | 94 | 1 新政府の成立 | 160 | | |
| ■この時代の特色をとらえよう | 95 | 2 明治維新の三大改革 | 162 | 第7章 現代の日本と世界 | 239 |
| ■この時代の歴史の学習を確認しよう | 96 | 3 富国強兵と文明開化 | 164 | ■現代の日本と世界 | 240* |
| | | 4 近代的な国際関係 | 166 | 1節 戦後日本の発展と国際社会 | |
| 近世の日本 | 97 | 5 国境と領土の確定 | 168 | 1 占領下の日本 | 242 |
| ■近世の日本 | 98 | 6 自由民権運動の高まり | 170 | 2 民主化と日本国憲法 | 244 |
| ヨーロッパ人との出会いと全国統一 | | 7 立憲制国家の成立 | 172 | 3 冷戦の開始と植民地の解放 | 246 |
| キリスト教世界とルネサンス | 100 | | | 4 独立の回復と55年体制 | 248 |
| ヨーロッパと外の世界 | 102 | 3節 日清・日露戦争と近代産業 | | 5 緊張緩和と日本外交 | 250 |
| ヨーロッパ人との出会い | 104 | 1 欧米列強の侵略と条約改正 | 174 | 6 日本の高度経済成長 | 254 |
| 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 | 106 | 2 日清戦争 | 176 | 7 マスメディアと現代の文化 | 256 |
| 兵農分離と朝鮮侵略 | 108 | 3 日露戦争 | 178 | | |
| 桃山文化 | 110 | 4 韓国と中国 | 180 | 2節 新たな時代の日本と世界 | |
| | | 5 産業革命の進展 | 182 | 1 冷戦後の国際社会 | 258 |
| 幕府の成立と鎖国 | | 6 近代文化の形成 | 184 | 2 変化の中の日本 | 260 |
| 江戸幕府の成立と支配の仕組み | 112 | 私たちが学ばなければならない③ | | 3 持続可能な社会に向けて | 262* |
| さまざまな身分と暮らし | 114 | 街の中に残る歴史・神戸 | 186 | 私たちが学ばなければならない④ | |
| 貿易の振興から鎖国へ | 116 | ▼深めよう 「解放令」から水戸社へ | 190 | 町の歴史から将来を考える | 264 |
| 鎖国下の対外政策 | 118 | ▼深めよう 足尾銅山と田中正造 | 192 | ▼深めよう 現代の公害問題とその克服 | 268 |
| | | ■この時代の特色をとらえよう | 193 | ▼深めよう 歴史の中の大震災 | 270* |
| の発達と幕府政治の動き | | ■この時代の歴史の学習を確認しよう | 194 | ▼深めよう 人類の歴史とエネルギー | 272 |
| 農業や諸産業の発達 | 120 | 第6章 二度の世界大戦と日本 | 195 | ■この時代の歴史の学習を確認しよう | 274 |
| 交通路の整備と都市の繁栄 | 122 | ■二度の世界大戦と日本 | 196* | ■歴史の学習のまとめをしよう | 275 |
| 幕府政治の安定と元禄文化 | 124 | 1節 第一次世界大戦と日本 | | | |
| 享保の改革と社会の変化 | 126 | 1 第一次世界大戦 | 198 | 解説・さくいん | 276 |
| 日清の政治と寛政の改革 | 128* | 2 ロシア革命 | 200 | 人名さくいん | 282 |
| 新しい学問と化政文化 | 130 | 3 国際協定の高まり | 202 | 事項さくいん | 284 |
| 外国船の出現と天保の改革 | 132 | 4 アジアの民族運動 | 204 | 年表 | 289 |
| 私たちが学ばなければならない④ | | 5 大正デモクラシーと政党内閣の成立 | 206 | | |
| 浮世絵にえがかれた風景から | 134 | 6 広がる社会運動と普通選挙の実現 | 208 | | |
| ▼深めよう 歴史の中のイスラム文化 | 136 | 7 新しい文化と生活 | 210* | | |
| ▼深めよう 江戸のエコ社会 | 138 | | | | |
| ■この時代の特色をとらえよう | 139 | 2節 世界恐慌と日本の中国侵略 | | | |
| ■この時代の歴史の学習を確認しよう | 140 | 1 世界恐慌とブロック経済 | 212 | | |
| | | 2 欧米の情勢とファシズム | 214 | | |

「インド世界の形成と展開」の 左：理論の体系化，右：理論の吟味(事例)



《カースト制度の構造モデル》



- ① カースト制度の構造と機能
- ヴァルナの現状: 「不可触民の境遇」(辛島昇・奈良康明編『インドの顔』pp.139-140)
 - ジャータの現状: 「異カースト間の結婚の悲劇」(同上書, pp.99-100)
 - ・ サンスクリット化: 「中間層の上昇志向」(小西正捷『多様のインド世界』pp.223-224)
 - ・ ジャジマニー制度: 「契約のネットワーク」(同上書, pp.229-230)
 - カースト制度: 「ヴァルナとジャータの関係」(斎藤毅・犬井正編『現代の世界像』p.87)
- ② カースト制度の支柱
- 思想的支柱: 「ヴァーラーナシーの沐浴風景(写真)」(『新詳世界史図説』浜島書店, p.32)
 - 「ヒンドゥ教の浄・不浄思想」(星村平和編『社会科学のための文化人類学』pp.947-948)
 - 現実的支柱(支配層の意図): 「バラモンとクシャトリアの癒着構造」(山崎利男『悠久のインド』pp.138-139)
 - 「仏教衰退の理由」(木下康彦・木村靖二・吉田寅編『詳説世界史研究』p.77)
 - 「アヘリ諸王朝のヒンドゥ」「ムガル朝の宗教政策」(山崎利男, 前掲書, pp.196, 223-224)
 - 「大反乱後の英国のインド統治策」(『シリーズ世界史への問い・3』岩波書店, pp.107-108)
- ③ カースト制度の成立と展開
- カースト制度成立の諸説: 具体事例なし
 - ヴァルナの成立: アーリア人の侵入～前600年位までのインド古代史の動き
 - ジャータの成立: グプタ帝国期～帝国衰退後のインド社会の封建化の動き
 - インドの近代化とカースト制度: 「新仏教徒」(辛島・奈良, 前掲書, pp.385-386)
 - 「ジャータの行方」(小西正捷, 前掲書, pp.226-227)

▼収集する書籍の例:「律令体制の変化から捉えた平安時代の」授業づくりの場合

① 専門書

② 啓蒙書・概説書

③ 図版資料集・解説書

「アフリカ」の理論と事例を探す・・・





「インド世界の形成と展開」の単元構成のアウトライン

I 事実認識と問題把握

- (1) カースト制度の構造と機能【カースト制度（ヴェルナとジャーティ）の現状の事例】
「カースト制度とは何か」
- (2) カースト制度の成立の由来【古代インド史（ヴェーダ時代～グプタ帝国）の事例】
「カースト制度はどのようにして成立したか」

II 理論の発見・創造

- カースト制度の存続理由に関する仮説の形成【事例なし】
「なぜカースト制度は2000年にもわたって続いてきたのか」

III 理論の吟味・検証

- (1) 古代におけるカースト制度への挑戦【バラモンとクシャトリヤの癒着の事例】
「カースト制度を否定する仏教が成立したのに、カースト制度が存続したのはなぜか」
- (2) 古代におけるカースト制度への挑戦【ヒンドゥ教の思想と仏教衰退の事例】
「なぜ仏教はヒンドゥ教に吸収されていったのか」
- (3) 中世におけるカースト制度への挑戦【イスラム勢力のインド支配の事例】
「600年も続いたイスラム支配下で、なぜカースト制度は衰退しなかったのか」
- (4) 近代におけるカースト制度への挑戦【イギリスのインド統治政策の変容の事例】
「近代原理に立つイギリスの植民地支配下で、なぜカースト制度は衰退しなかったのか」

IV 理論の応用・発展

- カースト制度の未来予測【インドの近代化とカースト制度の事例】
「カースト制度はこれからどうなっていくのであろうか」